

# おもしろい本 みつけたよ



ミムラ マサミ・イラスト

発行／富山市教育委員会生涯学習課  
富山市PTA連絡協議会

編集／良書特別委員会  
発行日／令和3年12月1日

## 低学年におすすめ



**おやがえるごん**  
①ぼんごやまのぼんたごんたの巻  
赤羽末吉・文  
末吉さく・え

おへそのひみつで、いたずらしちゃえ。いじわるされたら、しかえした。ピンチになったら、ジャンプでにげる。ゆかいなぼうけんはじまるよ。②と③もあるよ。  
(福音館書店 本体1,400円)



**こわいオオカミのはなしをしよう**  
ウィリアム・マクフリー作  
佐竹美保画  
小宮由訳

マイケルは、パパが作ってきたせてくれるおはなしが大すぎ。それは、パパがマイケルとおしゃべりしながらお話を作っていつてくれるからさ。どんな話にしようかな。  
(岩波書店 本体1,500円)



**ぼくはおじいちゃんのおにいちゃん**  
堀道子作  
田中六次絵

カイトは、おじいちゃんとうらすことが楽しみ。でも何だか前とちがうおじいちゃん、ぼくのことを「まもるにいちゃん」とさぶよ。おじいちゃん、どうしたの？  
(ポプラ社 本体1,000円)



**しゅくだいかけっこ**  
福田岩緒作・絵

もうすぐ運動会。足がおそいゆうまは、近所でこわいとゆうめいなてんぐじいさんと「かけっこ特訓」をすることにきめた。さいごまであきらめないという約束をして。  
(PHP研究所 本体1,200円)



**ノロウェイの黒牛**  
スロットランドの美女と野獣  
むかし、美しい三人の娘がいました。末の娘は結婚相手「ノロウェイの黒牛でもいいわ」と言います。するとほんとうに、大きな黒い牛がむかえに来たのです。  
(BL出版 本体1,600円)



**ランカ**  
松成真理子 文  
野呂さくえん 絵

ひとりぼっちじゃなかったよ  
にほんにやってきたおんなのこ

しらない国の学校で、ちぎゆうにひとりぼっちのきぶん。ことばはわからないし、おかしも食べられない。ふるさを思い出して木のぼると、みんながきました。  
(偕成社 本体1,300円)



**みんな同じじゃん？  
ナージャの5つのがっこう**  
キリーロバ・ナージャぶん  
市原淳え  
ナージャは5つの国の小学校に転校。国によって学校はとも違つ。でも、ナージャが一番おもしろいたのは日本の学校。だつて、ぜんぶ同じじゃないといけないから。

(大日本図書 本体1,400円)



**まほうのつえになるよ  
いっぽんのきのえだ**  
コンスタンス・アンダーソン作  
千葉茂樹訳  
木のえだがあつたら、なにに使う。砂に絵をかく？あなをほろ？動物だつて、いろいろ使うよ。ハエをたたいたり、スプーンにしたり。動物たちのちえにびつくり！  
(ほるぷ出版 本体1,600円)



**生きものたちが泣いている  
プラスチック惑星・地球**  
藤原幸一写真・文  
人間がすてたゴミがあふれる森や川。生きものがプラスチックを食べ、おなかをつまらせて死んでいる。ずっと消えないプラスチックゴミをせつ増やしてはいけない。

(ポプラ社 本体2,000円)



**どうやって飼うの？  
うちにカブトガニがやってきた!**  
石井里津子文  
松本麻希絵  
二億年前に生まれたカブトガニ。その卵をあずかり、家族で育ててみた。小さなたよりの命をハラハラしながら世話をして、ドキドキしながら見守つた。

(学研 本体1,400円)



**身近な動物たちから学ぶ  
命の大切**  
動物の命・人間の命・わたしの命  
今西乃子著  
浜田一男写真  
人間は、絶滅から守る命、食べる命に動物を分ける。価値は同じはずなのに、人間だけがもつ「命のものごし」。この問題に悩み続けなければならぬ。

(合同出版 本体1,500円)



**食にこめた思いにふれよう  
故郷の味は海をこえて**  
「難民」として日本に生きる  
安田菜津紀著・写真  
日本は、自分の国から逃げてきた人をほとんど受け入れていない。まずは難民として日本で暮らす人々と、故郷の料理を食べながら共に生きる輪を広げていこう。

(ポプラ社 本体1,400円)



**自分を信じるのが大切  
レギュラーになれないきみへ**  
元永知宏著  
どんな競技にも「補欠」選手はいる。でも、それで終わりじゃない。補欠の経験があつたからこそという時が必ず来る。自分の道を見つけた人から補欠の力を伝えよう。

(岩波書店 本体800円)



**忘れないためにできること  
平和のバトン**  
広島の高校生たちが描いた8月6日の記憶  
三狩匡純著  
被爆体験者から聞いた話を、高校生たちが絵に描く。戦争や原爆を見つめ直しながら、心と体を使って出来た作品は、多くの人の心に残る貴重な記憶となる。

(くもん出版 本体1,500円)

良書特別委員会

|      |               |    |              |    |             |       |              |
|------|---------------|----|--------------|----|-------------|-------|--------------|
| 委員長  | 柘植 節子 (南部中)   | 委員 | 井村亜紀子 (中央小)  | 委員 | 田口 昌代 (西部中) | 委員    | 松田 佳美 (堀川中)  |
| 副委員長 | 伊藤美寿穂 (堀川南小)  | 〃  | 小野由美子 (呉羽中)  | 〃  | 田嶋 繭子 (杉原小) | 〃     | 森川 香織 (堀川中)  |
| 〃    | 井上美友紀 (速星小)   | 〃  | 金尾 雅実 (堀川南小) | 〃  | 寺井 恵理 (豊田小) | 〃     | 山崎 香織 (呉羽中)  |
| 〃    | 竹内 絢子 (附属中)   | 〃  | 黒岩 阿紀 (豊田小)  | 〃  | 永石 寿代 (光陽小) | 〃     | 山本 正任 (堀川南小) |
| 会計   | 深山 敦子 (堀川中)   | 〃  | 兒島 恵美 (萩浦小)  | 〃  | 中瀬理佳子 (新庄小) | 〃     | 力示 美穂 (広田小)  |
| 委員   | 五十嵐勝彦 (新庄小)   | 〃  | 坂田喜和子 (堀川南小) | 〃  | 中林みぎわ (芝園小) | 〃     |              |
| 〃    | 石橋 愛弓 (西田地方小) | 〃  | 澤 ユキ子 (鵜坂小)  | 〃  | 野中 大輔 (芝園小) | 顧問    |              |
| 〃    | 伊勢 潤子 (附属小)   | 〃  | 嶋之内晶子 (速星中)  | 〃  | 橋本 晶子 (南部中) | 市P連会長 | 青山 和也 (堀川中)  |
| 〃    | 磯原 知里 (附属中)   | 〃  | 清水 祐子 (堀川南小) | 〃  | 堀井 恵 (岩瀬中)  | 担当副会長 | 吉川 満博 (南部中)  |
| 〃    | 伊藤 久美 (山室中部小) | 〃  | 高森貴代子 (豊田小)  | 〃  | 松井 未緒 (附属中) |       |              |



# 中学生におすすめ

音を楽しめ。そして客も楽しませろ  
アドリブ

佐藤 まどか 著

両親が離婚し、母とイタリアに残ったユージは、十歳の誕生日を迎える夏、大聖堂で行われた音楽院のコンサートで天使の声を聞く。あんな楽器があるなんて。それが、フルートとの出会いだった。(あすなる書房 本体1,400円)



大家族はいろいろあるけれど  
スアレス家は、今日もにぎやか

メグ・ステイナ 著  
橋本 恵 訳

名門校に奨学生として編入したキューバ系アメリカ人のメルシ。ボスキャフで裕福な同級生・エドナはいやがらせをするし、学校生活は大変。さらに大好きなおじいちゃんの様子がおかしくなっていく。(あすなる書房 本体1,500円)



しずかな子は、魔女に向いている  
しずかな魔女

市川 朝久子 作

草子が毎日座るのは、学校ではなく、図書館のいつもの席。ある日、心ない一言に傷ついた草子のノートに、司書の深津さんは文字を書いた。草子は、その言葉が書かれた本を探してほしいと頼む。(岩崎書店 本体1,300円)



みんな悩みを抱えている  
きみの存在を意識する

梨屋 アリ 作

読むことが苦手なひすい、性別を決められたくない理幹、書字障害の心桜、里子になった拓真、大人の期待に応えたい小春。あの子かもしれない、あなたかもしれない、中学二年生のストーリー。(ポプラ社 本体1,500円)



自分を慮苦しくさせていたのは自分自身  
天地ダイアリー

ささき あり 作

広葉は、マスクを手放せない。自分の不安を隠すための必須アイテムだ。学校では、目立たないように栽培委員会を選んだつもりだったが、意外にも活発で個性的な人の集まりだった。(フレーベル館 本体1,400円)



江戸時代の小説をもとに書かれた短編集  
ぬけ穴の首

廣末 保 作

行方不明になった百姓と瓜二つの男が、なりすまして暮らす「帰ってきた男のはなし」。貧乏な男が大金持ちになり、金もうけにとりつかれてしまう「わるだくみ」。あとがきと、町田康の解説も必読。(岩波書店 本体640円)



借りた目(見た目)はありますが  
見た目レンタルシヨップ  
化けの皮

石川 宏千花 著

狐使いの一族の末裔である大学生の庵路が営む、ようざレンタルシヨップ《化けの皮》。ここに来た客たちはおのおの思いをかなえていくが、それは客観的に自分を見ることがなくなっていくのだ。



忘れられない情景  
フラミンゴボーイ

マイケル・モーパード 著  
杉田 七重 訳

多くの名前はヴァインセント。部屋には「ヴァインセント」のサインを記した一枚の絵。ある日、額裏に祖父母からのメッセージを見つけたぼくは、絵にゆかりの場所、フランスのカマルグへと旅立つ。(小学館 本体1,500円)



## ～良書特別委員会では～

「良書特別委員会」は、富山市教育委員会生涯学習課から富山市 PTA 連絡協議会に活動を委託された特別委員会です。親子で親しむ読書普及活動に貢献することを目的として、平成 9 年より活動しています。委員は、市内の各小中学校を通して広く PTA 会員から募集しています。

子どもの本の好きな方、一緒に活動しましょう。

連絡先：富山市 PTA 連絡協議会事務局 TEL076-411-7901

## ～市立図書館で本を展示します～

令和 3 年 12 月 11 日(土)から令和 4 年 1 月 11 日(火)まで、富山市立図書館本館 3 階 児童図書フロアにて、「おもしろい本みつけたよ」第 25 号で紹介した本を展示します。ぜひ、実際に本を手にとってみてください。

最新号とバックナンバーは、富山市 PTA 連絡協議会の HP で見るができます。

富山市 P 連 検索



高学年におすすめ



**今、空に翼広げて**  
 のるい、ってほんとにあるの？  
 山本悦子 著  
 くまおり 純絵  
 同じ登校班の六人は、学年も性格も、悩みもバラバラ。ある日、いつも元気がいい年生の翼が不登校に。実は、翼の家にはみんなが知らない秘密があつて…。  
 (講談社 本体1,500円)



**平安の転生黒猫ストーリー 天邪鬼の皇子と唐の黒猫**  
 渡辺 仙州 著  
 中国から日本にきた黒猫は、人間の言葉が話せるしケンカも強い。本当はぐうたら寝て過ごしたいのに、猫の縄張り争いや人間の勢力争いに巻き込まれてしまう。  
 (ポプラ社 本体1,500円)



**一番大切なものを手放せますか？ 最後のドラゴン**  
 ガレット・ワイヤー 著  
 ケイティ・ハーネット 画  
 三辺 律子 訳  
 特別なドラゴンとして生まれるが、姿も能力も平凡なグリシャ。だが、運命の少女マギーと出会い、物語は動き出す。切なく、どこかリアルに感じられる不思議なお話。  
 (あすなろ書房 本体1,600円)



**知ってほしい人なんです！ 昔は、おれと田中さんとの友情**  
 椰月 美智子 著  
 早川 世詩男 画  
 スケボー好きな拓人たち三人は、けがをした八十五歳の田中さんのお手伝いをする。昔、陸上バレーに優い田中さんのファンになった三人は、ある計画を立てる。  
 (小峰書店 本体1,400円)



**こぼれをたのしもう ぼくがゆびをばちとならして、きみがおとなになるまでの詩集**  
 斉藤 倫著  
 高野 文子 画  
 「ぼく」と小学生の「きみ」との間で、詩をばちのんびりくり広げられる言葉のやり取り。詩から広がる世界を楽しむうちに、「こぼれ」のおもしろさに気づけるよ。  
 (福音館書店 本体1,200円)

中学年におすすめ



**異世界ツアーへようこそ！**  
**トラブル旅行社 砂漠のフルーツ狩りツアー**  
 コマツ シンヤ 絵  
 廣嶋 玲子 文  
 外国の珍しいジュースをうつかり飲んでしまった大悟。手に入れられるならなんだったって！心の底からそう思った時、大きなフワフワが現れ、ついでに…？  
 (金の星社 本体1,000円)



**ねこと王さま**  
 ニツク・シヤラット 作・絵  
 市田 泉 訳  
 ドラゴンにお城を燃やされおどろき越して  
 のんびり屋の王さまとかしこいねことの、ふたりきりの生活が始まりました。今はねこが運転する車に乗って、フリーマーケットでお買い物です。  
 (徳間書店 本体1,600円)



**ずっといい子、つまらなくない？ おひめさまになったワニ**  
 ローラ・エイミー・シュリッツ 作  
 ブラリアン・フロツカ 絵  
 中野 悦奈 訳  
 お城での生活にうんざりのコアラひめの前に現れたワニ。ひめが外で自由に過ごす間、ワニはひめのドレスを着てモップをかつらにし、ひめの代わりになると言います。  
 (福音館書店 本体1,600円)



**友だちって、なんだろう？ うそつきタケちゃん**  
 白矢 三恵 作  
 たかおか ゆみこ 画  
 転校ばかりしているぼく。友だちはいらなそうと思っていたのに、タケちゃんとおうのが楽しくなってきた。そんなある日、タケちゃんがオバケを見たと言いついて…。  
 (文研出版 本体1,300円)



**七十七年前にタイムスリップ ゆりの木荘の子どもたち**  
 富安 陽子 作  
 佐竹 美保 絵  
 老人ホームに改装された洋館、ゆりの木荘。忘れていたはずの手まり歌を歌い終えた時、おばあさんたちは子どもに戻っていました。時を超えた物語が始まります。  
 (講談社 本体1,300円)